

第3章 各関係分野の役割

1 家庭の役割

家庭での食事は、マナーや知識を学び、食べ物への感謝の気持ちを育む食育の場であり、家族とのコミュニケーションを図る団らんの場としても大切な役割を担っています。

このような家庭における食育の大切さを再認識し、関心を高めて食生活の健全化に向けた支援を行います。

2 保育所・幼稚園・小中学校の役割

保育所・幼稚園・小中学校は、子どもの心身の成長発達、健全育成のための重要な場であり、子どもとその保護者へ食育を推進していく場として、大切な役割を担っています。

保育所・幼稚園では、基本的な食習慣を身につけることや、食に興味を持ち、楽しく食事ができるように配慮します。

小中学校では、各学校における食育指導計画をもとに、校内における食育カリキュラムを実施し、小中学校間や地域、行政と連携を図りながら食育を推進します。

また、福崎町では、1か所の給食センターで、町内全保育所から幼稚園、小中学校までの給食を調理しています。栄養教諭の管理のもと、安全安心な食材を使用し、子どもの健全な成長を促すために、より栄養バランスのとれた給食を提供し、効果的な食育指導を実施します。

3 地域・関係団体の役割

地域は、子どもから成人、高齢者まで全てのライフステージをとおしての生活の場であり、各種関係団体と連携して食育の推進を図ることが必要です。

その実践のため、食育に関する地域のボランティア団体、農業関係団体などが先導し、地域（集落）の子どもたちや保護者、高齢者に食育を啓発する活動を積極的に行い、地域に根ざした食育活動の推進を目指します。

4 町の役割

町は、食育を推進するために食育担当者で構成する食育推進会議が中心となって、食育推進体制の整備を図ります。

これにより家庭、地域、関係機関、行政などが一体となった食育の推進を実現します。実施においては、関係機関・団体が積極的に連携し、本計画に基づいて、より効果的な食育事業を展開できるよう支援します。